

報告 5 資料 1

学術委員会からの次年度に向けての次年度に向けての報告・審議依頼事項

文責：藤井敦史

≪報告事項≫

1) 全国の大学等での講座・科目調査等の実態把握（岡田彩先生の調査進捗状況）

岡田先生から、トヨタ財団助成プロジェクトの一環として、全 790 大学（国公私）計 3252 科目分のデータセット第一弾が出来上がっており、分析結果の第一弾を、サンディエゴで開催された ARNOVA で報告されたという御連絡を頂きました。現時点では、「非営利・NPO・NGO を主なテーマとしている科目」として 389 科目、「部分的に NPO に触れる科目」として 2853 科目、担当教員計 309 名が特定されたということです。309 名の内、「非会員である教員は、潜在的会員として積極的にアプローチすべき対象」として捉えることができるでしょう。

理事会当日は、岡田先生はご欠席ですが、ARNOVA 報告スライドと「非営利・NPO・NGO を主なテーマとしている科目」の担当教員リストを頂いておりますので（別途資料参照）、藤井の方から代理報告させていただきます。

2) 次回大会における学術委員会企画

学術委員会からは以下の二つの企画案が出されています。

- ①桜井政成先生から「東アジアにおける社会的経済と社会的企業」（国際公共経済学会との共同パネル企画、国際交流企画でもある）
- ②岡本仁宏先生から「NPO セクターにとっての宗教・宗教団体の意義—鬼門封じの試み」（宗教と社会貢献研究会との連携セッション）

いずれも、とても魅力的な企画案であり、他学会との連携を深めて、NPO 学会を盛り上げていくという学術委員会のミッションとも合致しており、学術委員会として提案させて頂く予定です。ちなみに、藤井が大会実行委員会の一人ですので、次の 12 月 20 日の実行委員会の際に正式に提案させていただきます。

≪審議事項≫

1) スタディ・グループの制度改正に関して

2019 年度、スタディ・グループの応募はゼロ件でした。これを受けて、学術委員会で次年度のスタディ・グループについてどうすべきか審議いたしました。一方では、学会運営が財政的に厳しい折、ニーズも少ないし、優先順位を下げるべきであり、廃止・縮小もや

報告 5 資料 1

むを得ないというご意見がありましたが、他方では、ニーズはあるけれども、制約が多いので出しにくいのではないかという御意見もありました。また、スタディ・グループは今年度が2年目であり、制度として開始したのであれば、より良くする実験を続けながら最低3年間はやってみてもいいのではないかという意見もあり、結果的に「スタディ・グループは使用基準を緩和した上で次年度継続」ということでまとまりました。

理事会でスタディ・グループの制度変更についてお認めいただけましたら、使用基準の緩和について審議した上で、要綱の変更案を学術委員会で作成し、2月の理事会に提出させていただきたいと考えております。ちなみに、現段階では、たとえば、以下のような条件変更を想定しており、今後、詳細を詰めていく予定です。

- ①2年間で総額20万円とし1年で2グループ合計40万円までの支出（10万円縮小）
- ②構成員は5名以上で3名が学会員
- ③報告義務は年に1回の報告会開催と総会報告ないしニュースレターでの短い記事等

2) 国際関係の企画に関する提案

①ISTRのPhDセミナーとARNOVAに関する広報

ISTRではPhDセミナーを世界大会／アジアパシフィック大会で開催しており、桜井先生によれば、若手研究者が他国の若手と繋がる良い機会だということです。また、国際交流という点では、ARNOVAも貴重な機会となっています。こうしたことから、学会のニュース・レター等で、ISTRのPhDセミナーとARNOVAの大会について広報をさせて頂くことができると考えております。また、これらの広報に関する原稿の取りまとめに関しては、岡田先生の方で主導して頂く予定です。

②大学院生・若手研究者の国際学会参加促進

大学院生・若手研究者の国際学会参加を資金的に補助する仕組みを作ることができないかという御意見が岡田先生から出されており、学術委員会として今後の検討事項と考えております。ちなみに岡田先生からの具体案としては、以下のような案が出されています。

- 1名につき5万円、年間4名まで支給（全額ではなく、一部補助）
- 募集方法とタイミング：国際学会大会発表、或いは、PhDセミナー等への申請時に、応募書類（アブストラクト・計画書）を申請書類として提出。理事数名で審査し、理事会の承認を得るという流れ。

学会が財政的に厳しい折、なかなか難しいかもしれませんが、次世代の学会員を育成する重要な取り組みとして、学術委員会として検討していきたいと考えておりますが、御意見を頂けると幸いです。